



[プライマネージ]
PRIMANAGE
CSS Open Package Series for Enterprise Resource Planning

PRIMANAGE VIEW のインストールとパラメータ設定

1. インストールの作業

1.1 ソフトウェアの構成

PRIMANAGE VIEW(略称:SWB VIEW) は、次のような構成になっています。

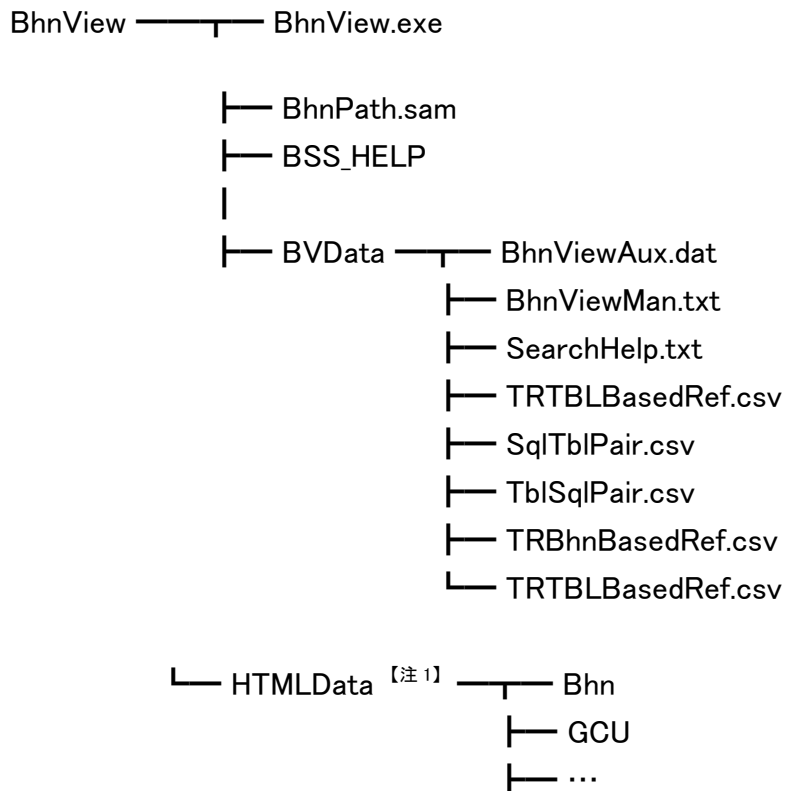


表 1 SWB VIEW のディレクトリ構成

1.2 インストール

- ① インストールにあたっては、適当なサブディレクトリを作成します。

(仮に、このディレクトリを、C:\View とします。)

HTMLData については、次の「1.3 HTMLData のインストール」をご覧ください。

- ② インストールが終了したら、BhnPath.sam を BhnPath.dat という名前にしてください。

そして、この BhnPath.dat に対して、「2. パラメータの設定」を行います。

1.3 HTMLData のインストール

このデータは、WEB 部品の GUI である、HTML 画面のサンプルを集めたものです。

このようなデータが必要になるのは、ブラウザ上に表示される HTML の画面は、HTML のソース・ファイルそのものが表示されるのではなく、そのソース・ファイルに cgi での作業の結果が埋め込まれたもの、が表示されるためです。

この cgi での作業の結果は、事前には知ることができないため、**SWB VIEW** では、実画面に近い印象を与えるような (いってみれば cgi の作業後の結果に相当する) HTML ファイルを用意して、この HTML を (実画面のサンプルとして) ブラウザ上に表示するようにしています。

- ① このデータは、原則としては、HTML のソース・ファイルがある場所と同じ場所に、Samples というサブディレクトリを作成して、その下にインストールします。

- ② あるいは、(上記の方法は手作業によるコピー動作が必要ですので、)システム内の任意の場所に、HTMLData の構造を維持したまま、(まるごと)コピーしても差し支えないようになっています。

ただ、② の場合は、BhnPath.dat の中に、HTMLData がどこにコピーされているかを、-wx オプションをつけて記しておくことが必要になります。

2. パラメータの設定

BhnView.exe は、実行時に種々のファイルにアクセスしますので、それらファイルの配置されている場所を教えてください。BhnPath.dat はこの情報を提供するためのファイルです。

このファイルに、各ソースファイル(src, include, cpy)、実行ファイル(bin)、オンライン・ヘルプ、Web 部品のソースファイル、エディタ、がインストールされている場所を記述します。

なお、このために、既にインストールされている各ソースファイル、実行ファイル(bin)、Web 部品のソースファイル、エディタへの絶対パスを調べておいてください。(エディタを指定しない場合は、Notepad が代行しますので、-e とだけ指定してください。)

2.1 各ソースの存在している場所の指定

BhnPath.dat をエディタで開きます。

添付されている BhnPath.dat (sam) は、次のような内容になっています。

```
-----  
# (#はコメント行を表します。#は行の先頭に置いて下さい) 作成・変更:2001-02-28  
# -e から、-wg までの設定を、一行に記述してください。(2047 バイト以内として下さい)  
#  
# 各プレフィックスの意味は次の通りです:  
# -e エディタの実行モジュールへの絶対パス  
# [注2] -e とだけ記してその後ろになにも書かない場合は、Notepad が  
# エディタとして使われます。  
# -s 一般部品のソース・ファイルのディレクトリへの絶対パス  
# [注3] このディレクトリの下に、各サブシステムのディレクトリ(例: ACS, BHN, ...) が  
# 配置されているはずですが。  
# -b 一般部品の実行モジュール が収められているディレクトリへの絶対パス  
# -i 一般部品の include(ヘッダ)・ファイル が収められているディレクトリへの絶対パス  
# -p 一般部品の コピー句 ファイル が収められているディレクトリへの絶対パス  
# -h 一般部品の HELP ファイル が収められているディレクトリへの絶対パス  
# -z 一般部品の 仕様図の ファイル が収められているディレクトリへの絶対パス  
# -x Microsoft Internet Explorer があるディレクトリへの絶対パス
```

(ここでは以下省略します。)

-
-
-

既に調べておいたパスを、各プレイフィックスのそれぞれに記述・修正変更します。修正後、このファイルを保存します。

【注⁶】 この `-e` から、`-wg` までの全部の指定は、一行に記し、複数行に分割しないでください。表示の都合上、上の例では記述の途中に [Enter] を入れています。実際の `BhnPath.dat` では、1 行に書いてください。

【TIPS】 なお、Web 部品を使用していない場合で、メイン画面に、Web 部品が表示されないようにしたい場合は、`BVData` ディレクトリの下にある、`BhnViewAux.dat` ファイルを、他の場所に移動するか、あるいは別の名前に (例えば、`BhnViewAux.dat1` のように) 変更してください。

3. 起動

SWB VIEW の起動は、エクスプローラから、`BhnView.EXE` をダブルクリックして行います。また、このアイコンのショートカットを作成して、デスクトップ上に置けば、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックすることにより、直接立ち上げることができます。

4. 終了

終了するには、部品のリストが表示されているウィンドウ、あるいは **SWB VIEW** コントロール・パネル (ボタンが並んでいるウィンドウ) のいずれかを終了してください。これで、**SWB VIEW** のシステムが終了します。